

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和3年2月16日
東村山市議会議長 あて

議席番号 11番
質問者 横尾たかお

記

1. AIの活用で得たリソースを人財へ！

当市でも、RPAやOCRなどの活用で様々な業務効率化や職員の負担軽減に努めてきた。市としても、ペーパーレス化をはじめDXに向け取り組みを始めている。DXを強力に進めていくには、リソースの循環が重要と考え、以下質問する。

(1) 新しい始まりには、人財が不可欠。リソースの循環を。

- ① AI-OCR・RPAの稼働状況。効果と課題について伺う。
- ② ①で出た効果（実質的な業務効率時間など）はどの程度か、また、それをどのように活かしているかがう。
- ③ OCR・RPAの稼働は職員がいるときだけ稼働しているのか、休憩時間や退勤したあとの稼働実績はあるか伺う。
- ④ AIやRPAの導入で得るものは、職員の時間や業務効率だと考える。他事業への導入促進についての現段階の見解をうかがう。
- ⑤ 行革の視点から、AIやRPAの活用をどのように考えているか見解を伺う。
- ⑥ 以前導入した、包括管理委託など様々な業務の効率化で得た人的リソースの活用をあらためてうかがう。課内の業務へ投資できているか。
- ⑦ 一つ一つの業務の効率化提案は、民間提案制度の活用や庁内からの要望も想定できる。しかしながら、庁内全体の業務へのアプローチは困難ではないかと考える。AIやRPAなどで得たものを人的リソースに導入し、庁内業務の効率化の調査研究に特化したポジションも必要であると考え。見解を伺う。
- ⑧ ワクチン接種という一大事業の先には、大量の事務処理も想定される。早期の備えも必要と考える。現段階での準備はどのように考えているか見解を伺う。
- ⑨ 総括としてAIやRPAの活用からの人財リソースについて市長の見解を伺う。